

環境教育「まず、今でもことから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
編集者：代表幹事 高橋 賢一
連絡先：市民活動支援センター
尾張旭市渋川町三丁目5番地7
(渋川福祉センター内)
TEL 0561-51-2878

部活動

学校の文化・
教師の働き方

の

部活動の実態と教師の本音
データで「見える化」する

社会



内田良 編

部活動は学校のなかでは
人気の教育活動である。
「部活動が中学校時代のいちばん
の思い出」という人もたくさんいるし、
「部活動やりたくて教職についた」と
いう教員も年代を問わずいる。
平日の夕方にくわえて土日も活動
するのはそれが入学から卒業まで

部活動改革への期待と課題

機会の格差拡大も生徒の声大切

三年にわたってつく。
各教科における教員と
生徒の関係よりも部活動に
おけるそのほづが頻度も
多く密度も高い質と量の
両面において部活動が教員
や生徒に与える影響は絶大
である。
しかしながらそれとは対照的に
部活動に関する研究は驚く
ほど少ない。
教員養成系大学には各教科の
研究者はたくさんいるけれども、
部活動の研究者皆無に等しい。
部活動は「教育課程外」や「そ
やらなくてもいい活動だからで
ある」。
「部活動と人」だけが問題か？
勝利至上主義にはどのような
特徴があるのか。

部活動改革への 期待と課題

本来部活動問題は
においては生徒こそが、
当事者であり受益者で
ある。部活動をどのように
改善・改革すれば持続
可能な仕組みになるのか
を生徒や教師たちが自分
事として知恵を出し合っ
とが大切ではないか。
学校の機能移行
困も責任果たせ。

文化庁と
スポーツ庁が
主導する部活動
改革では少なくとも
土日の部活動を地域
クラブに移行させる。
理由は少子化と教育
の過重労働への対応である。

